

JP60015357

Publication Title:

PAPER FOLDING DEVICE

Abstract:

Abstract of JP60015357

PURPOSE:To enable slant travelling of blanks to be corrected and prevent the blanks from being slantly folded, by providing a means for temporarily releasing the nip of the blank from one of a pair of folder rolls for feeding the blanks to a chute. **CONSTITUTION:**A stopper portion 1a is provided on the upper portion of a chute 1 installed vertically, and below the chute are provided folder rolls 3, 4 for feeding blanks 2 into the chute 1 and a folder roll 5 contacting one 4 of these rollers for folding the blank 2. In this case, the other folder roll 3 is supported pivotably on the lower end side of a lever 7 connected pivotably to a support shaft 6, and to the lower end side of the lever 7 is connected a drive means 10 through a link 10. And the other folder roll 3 is separated from one folder roll 4 by the drive means 10 so that the nip of a blank 2 is temporarily released to correct the slant travelling of the blank 2.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭60—15357

⑬ Int. Cl.⁴
B 65 H 45/14

識別記号

庁内整理番号
7816—3F

⑬ 公開 昭和60年(1985)1月26日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 紙折り装置

海老名市本郷2274番地富士ゼロ
ックス株式会社海老名工場内

⑮ 特 願 昭58—123145
⑯ 出 願 昭58(1983)7月8日
⑰ 発 明 者 望月陽

⑮ 出 願 人 富士ゼロックス株式会社
東京都港区赤坂3丁目3番5号
⑰ 代 理 人 弁理士 米原正章 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

紙折り装置

2. 特許請求の範囲

シユート1の下方に、該シユート1へ用紙2を送り込むフォルダロール3、4と、用紙2を折り曲げるフォルダロール5を設けたものにおいて、シユート1へ用紙2を送り込むフォルダロール3、4の一方に、シユート1へ送り込んだ用紙のニップを一時解除する解除手段を設けてなる紙折り装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

この発明はシユート内へ用紙を送り込んだ後フォルダロールを解放して用紙の斜行を修正するようにした紙折り装置に関する。

従来技術

従来複写用紙などの紙折りに供する紙折り装置は、第1図に示すようにシユートaの下部に、シユートaへ用紙bを送り込む一対のフォルダ

ロールc、dと、これらフォルダロールc、dの一方dに接して用紙bの折り曲げに供するフォルダロールeを設けたもので、シユートa内に送り込まれた用紙aの先端がストップfにより停止されると、用紙bの下端側は、フォルダロールdに沿ってフォルダロールe方向へ進み、これらフォルダロールd、e間に挟入されて紙折りがなされるようになっている。

しかし上記のような紙折り装置では、用紙bが斜めにシユートaへ送り込まれた場合、そのままの状態では紙折りが行なわれるため、用紙bが斜め折りされてしまい不具合があつた。

発明の目的

この発明はかかる不具合を改善する目的でなされたもので、シユート内へ用紙を送り込むフォルダロールを一時解放して、用紙の斜行を修正することにより、用紙が斜め折りされるのを防止した紙折り装置を提供しようとするものである。

発明の構成

シュートへ用紙を送り込むフォルダロールの一方に、他方のフォルダロールより離間させることによつて、シュートへ送り込んだ用紙のニップを解除する手段を設けて、斜行状態でシュートへ送り込まれた用紙が斜め折りされるのを防止した紙折り装置。

実施例

以下この発明の一実施例を第2図以下に示す図面を参照して詳述すると、図において1は垂直方向に設けられたシュートで、上部にストッパ部1aを有していると共に、このシュート1の下方に、シュート1内へ用紙2を送り込むフォルダロール3、4と、これらフォルダロール3、4の一方4に接して、このフォルダロール4との間で用紙2の紙折りに供するフォルダロール5が設けられている。用紙2をシュート1内へ送り込むフォルダロール3、4の他方3は支軸6に回動自在に支承されたレバ7の下端側に回動自在に支承されていて、レバ7の上端を

時計まわり方向へ付勢する引張りばねなどの付勢手段8によりフォルダロール4に圧接されていると共に、レバ7の下端側には、リンク9を介してソレノイドなどの駆動手段10が接続されていて、この駆動手段10により、用紙2をシュート1へ送り込み後、一方のフォルダロール3が他方のフォルダロール4より離間されて、用紙2のニップを一時解放するようになっている。

発明の効果

この発明は以上詳述したようになるから、フォルダロール3、4により用紙2をシュート1へ送り込む際、用紙2が斜行していても、用紙2が折り曲げられる前に、フォルダロール3、4の一方3が駆動手段10により第3図に示すように他方のフォルダロール4より離間されて用紙2のニップを解放するため、先端部がシュート1上端のストッパ部で停止された用紙2の弾性により斜行が修正されるようになる。これによつて再びフォルダロール3、4が用紙2の

送り込みを開始して、第4図に示すようにフォルダロール4と折り曲げ用のフォルダロール5の間で用紙2が折り曲げられても、用紙2が斜め折りされることがなく、用紙2の斜め折りを確実に防止することができるようになる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の紙折り装置の説明図、第2図はこの発明の一実施例を示す構成図、第3図及び第4図は作用説明図である。

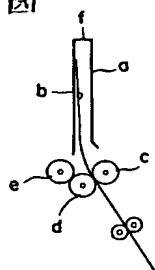
1はシュート、2は用紙、3、4はフォルダロール。

出願人 富士ゼロックス株式会社

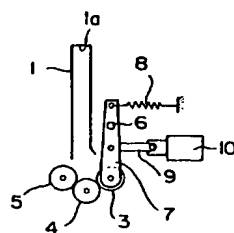
代理人 弁理士 米 原 正 章

弁理士 浜 本 忠

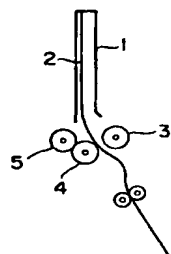
第 1 図



第 2 図



第 3 図



第 4 図

